

各位

不動産投資信託証券発行者名

東京都千代田区永田町二丁目4番8号  
大和ハウスリート投資法人  
代表者名 執行役員 浅田利春  
(コード番号: 8984)

資産運用会社名

大和ハウス・アセットマネジメント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 土田耕一  
問合せ先  
大和ハウスリート本部ファンド企画部長 朝比奈孝祐  
TEL. 03-3595-1265

## サステナビリティに関するイニシアティブへの参加に関するお知らせ

大和ハウスリート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）が資産の運用を委託する資産運用会社である大和ハウス・アセットマネジメント株式会社（以下「本資産運用会社」といいます。）は、この度、下記のサステナビリティに関するイニシアティブへ J-REIT の資産運用会社として初めて参加しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. イニシアティブへの参加の方針について

本投資法人及び本資産運用会社は、大和ハウスグループの基本姿勢である「共に創る。共に生きる。」を共有し、不動産投資運用業務に環境（Environmental）・社会（Social）・ガバナンス（Governance）への配慮を組み込むことは、サステナブルな社会の実現に不可欠であり、かつ本投資法人の基本方針である中長期にわたる安定した収益の確保と資産の着実な成長に資すると考えており、不動産投資運用事業を通じて実践してまいりました。

本投資法人及び本資産運用会社は、特に、気候変動、人権、ダイバーシティ&インクルージョン（多様性の尊重）及び生物多様性への対応は重要な社会課題であると考えており、これらに係るイニシアティブへ参加することで今後も社会課題の解決に積極的に取り組む方針です。

#### 2. 本資産運用会社のイニシアティブへの参加について

##### (1) 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）への入会

**生物多様性**

企業と生物多様性イニシアティブ（以下「JBIB」といいます。）は、2008年4月に設立された「生物多様性の保全を目指して積極的に行動する企業のネットワーク」で、多様な企業が共同で研究を進めることにより、単独の企業活動のみでは成し遂げられない成果を生み出し、真に国内外の生物多様性の保全に貢献することを目指しており、以下の5つの活動を行っています。

##### <JBIBの5つの活動>

1. 企業と生物多様性に関する研究及び実践
2. ステークホルダーとの対話及び連携
3. グッドプラクティスの国内外への情報発信
4. 生物多様性への取組を促進するための提言及び啓発
5. その他、当法人の目的を達成するために必要な事業



本資産運用会社は、JBIBの活動趣旨に賛同し、JBIBにJ-REITの資産運用会社として初めて入会しました。

(2) 生物多様性のための 30 by 30 アライアンスへの参加

生物多様性



「30 by 30 (サーティ・バイ・サーティ)」とは、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる(ネイチャーポジティブ)というゴールに向け、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。この目標達成に向けた取り組みを進めていくために2022年4月に発足された有志連合が「生物多様性のための30 by 30アライアンス」(以下「本アライアンス」といいます。)です。

本資産運用会社は、「30 by 30」の実現に向けた具体的なアクションとして、保護地域及び国際 OECM<sup>※</sup> データベース登録を受けた(受ける見込み)エリアの管理を支援していきます。

本資産運用会社は、本アライアンスの活動趣旨に賛同し、本アライアンスに J-REIT の資産運用会社として初めて参加しました。

※ OECM (Other Effective area-based Conservation Measures) : 国立公園などの保護地区ではない地域のうち、生物多様性を効果的にかつ長期的に保全しうる地域のこと。OECMを増やすことにより、CO<sub>2</sub>の吸収・固定はもとより、防災減災に寄与する自然再生が期待できます。

3. 今後の取り組み

本投資法人及び本資産運用会社は、「サステナビリティ方針」に基づき、サステナビリティへの取り組みを今後も推進していきます。

(注) 本プレスリリース上における J-REIT という表記は、東京証券取引所に上場している不動産投資信託を指します。

以 上

\* 本投資法人の「ESG への取り組み」サイトアドレス : <https://www.daiwahouse-reit.co.jp/ja/sustainability/>